

マスコミ関係各位

2019年7月24日

岡本多喜子社会学部教授がアドバイザーを務める 昭文社「おかえりQR」東京都全域で対面販売開始 ～認知症や迷子の方の早期発見を目指し、仕様を改善～

明治学院大学（東京都港区、学長 松原 康雄）社会学部岡本多喜子教授は、株式会社昭文社（東京都千代田区、代表取締役社長 黒田 茂夫）が商品化した、認知症や迷子の方の早期発見支援サービス「おかえりQR」開発にあたり、アドバイザーに就任しています。「おかえりQR」パイロット版の販売は、2018年より埼玉県の間野郵便局99局で始まりましたが、2019年7月24日より、日本郵便株式会社東京支社（東京都港区、支社長 立林 理）の協力のもと、東京都のすべての郵便局1,467局の窓口での店頭販売が開始されました。

「おかえりQR」は、道に迷った要支援者が身につけているシール型QRコードを周囲の人が読み取ることで、家族・介護者に居場所を発信し、無事に家族の元にかえすことを目的としたおかえり支援サービスです。

「おかえりQR」のシールを高齢者や子どもなど守りたい人の持ち物等に貼り、シールシートに記載のID番号と家族・介護者のメールアドレスを登録しておくことで、道に迷った対象者を発見した人がQRコードをスマートフォン・フィーチャーフォンに読みこみ、簡単な入力を行うだけで、家族に現在の状況や発見場所の位置情報等を知らせることができます。

発見者に家族のメールアドレスは開示されず、発見者の個人情報も不要ですので、家族と発見者がともに安心して利用できるサービスです。



高齢化が進む中、認知症等さまざまな病気で帰宅が困難になる方やその家族・介護者に「安心を提供したい」という思いの下、デジタル地図サービスおよび位置・情報サービスに強みをもつ昭文社が商品化しました。開発にあたり、地域で生活する高齢者の環境改善の研究に取り組む岡本多喜子本学社会学部教授がアドバイザーとしてアドバイスをを行っています。

【岡本多喜子教授 コメント】

10年前に本学がある港区の職員と作成した「救急医療情報キット」が取り結んだ縁で、「おかえりQR」開発に関わることになりました。認知症高齢者の徘徊をなるべく早く発見し、心配している方々に連絡をするというこのシステムが機能するためには、多くの方々に「おかえりQR」というみどりのQRコードの意味を知っていただくことが必要です。身近な場所で購入可能になったことは、人々に知ってもらうよい機会だと思います。明治学院大学社会学部では、社会に関わる問題を明らかにし、その問題の解決策を考えています。



■ おかえりQRについて <https://www.mapple-search.biz/>

取材のお問合せは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当: 圓道・濱口

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37

Tel: 03-5421-5165(直通) Fax: 03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <https://www.meijigakuin.ac.jp/>